

## 5-5 ウエペケレ「ポロシルンカムイ トウレシヒ アコロ」解

### 説

語り手：貝澤とうるしの

聞き手・解説：萱野茂

萱野：私は **Porosir** [幌尻岳] の神さまの妹を妻にしておる一人の神でありました。

ある日のこと、妻である **Porosirunkamuy** [ポロシリの神] の妹は何か言いたくて私に……、そのしゃべり始まる時のその表現と言いましょか、そういう時の描写にこういうふうに出るんですけれども、**rep o usak ya omare ya o usak rep omare** [炉の中心にある燠を炉端に置き、炉端にある燠を炉の中心に置く] というふうに、話をするその話の中、話をするきっかけをつかむその時にこう、昔風のその囲炉裏の中である、いわゆる燠をです、真ん中の方にある燠をこう縁（へり）の方へ寄したり、縁の方にある燠を真ん中へ押したりというふうに、そういう表現で言うんですが、そういうようにして、言いたいこともなんか言いそびれ言いそびれして、とうとう言うのには、「なんか [なにか] しら **Porosir** の私の兄神のところへ遊びに行きたいので、どうぞひとつ許してください。」と、そのように言うのだ。

「どうぞ、どうぞ、行って来なさいよ。」というふうに私は妻が、いわゆる私の舅である **Porosirunkamuy** [ポロシリの神] へ行くことを許可した。

そうすると、行って何日か過ぎて帰ってきて言うのには、「私の兄神のところへ行ったところが、**aynu kotan** [人間の村] を襲おうとしている **mosirsinnaysam** [国土の他に在る化け物] という化け物がおるから、それをぜひあなたの力で退治してくださいと、そのように言われましたよ。だからどうぞひとつお願いします。」と、そんなふうと言われて、なるほどそう言われてよく注意して見たらば、本当にその悪い神様が **aynu mosir** [人間の国土] を襲おうとしておったと。

それを見たのでいろいろと、その化け物を退治するに見合った武器を作り、そして **Porosirunkamuy** [ポロシリの神] と一緒にその化け物を征伐したと。

そのおかげで今ではこの **aynu mosir**、いわゆる人間の国土もなんも恐ろしいものもなく、私たちは生活しておりますよと、一人の大変位の重い神様が言いましたと。

これは **Porosirunkamuy turesihi a=kor** [ポロシリ神の妹と私は結婚した] という **uepeker** [散文説話]。

貝澤 : **Porosirunkamuy kokowe kamuy isoitak XXX** [ポロシリ神の婿神が話した XX]

萱野 : そうね。 **Porosirunkamuy** の **kokowe**。いわゆるポロシリの神様の婿殿になる人、神様がこういう語りをした、という **uepeker** [散文説話] でした。